

第3回白浜地区学校再編検討委員会次第

日時 平成21年2月5日 午後7時

場所 フローラルホール 2階会議室

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
 - (1) 幼稚園・小学校の名称について
 - (2) 推進スケジュールについて
 - (3) 学校再編に係る個別合意事項について
 - (4) 第4回検討委員会の日程について
4. その他
5. 閉会

第3回 白浜地区学校再編検討委員会 議事録

平成21年2月5日(木) 午後7時
白浜フローラルホール 2階会議室

記録者 岡崎 靖
石井 恵子
欠席委員 庄司 委員
在原 委員

1. 開会
2. あいさつ

委員長 前回の議案までは合意が出来た。本日は、学校等の名称、今後のスケジュール、個別合意事項について協議願いたい。

教育長 今年度は、今回の会議が最終と考える。引継を経て来年度再開を予定。子ども達の教育環境を良くするという観点から話し合いを進めて欲しい。

3. 議事

事務局 要綱の定めにより、議長は委員長が務める。
本日、傍聴の申し出でなし。

委員長 本日の出席委員は17名。過半数に達し会議は成立する。
これまでの、協議結果を確認したい。

第1回会議では、両幼稚園・小学校の統合を推進することに賛成の合意が得られた。

第2回会議では、学校等に位置について、白浜幼稚園・白浜小学校の園舎・校舎を活用することで合意された。また、再編期日の目標を、平成23年4月1日とすることで合意された。併せて、スクールバス等による通学支援を、市に対して行うことでも合意された。これらの合意事項について、質疑は無いか。

委員 異議なし。

委員長 それでは、第1号議案「幼稚園・小学校の名称について」を議題とする。
事務局より説明を。

事務局 両幼稚園・小学校は、対等な立場での統合である。白浜幼・小の施設を使用しても、新たな学校となることをふまえて協議願いたい。

委員 この議題は、今日結論を出し最終決定となるのか。

委員長 今日の結果を基に、今後、地区説明の際の案として示す。

委員 地区説明の中で、名称が変わることもあるのか。

事務局 地区への説明で出た意見を検討委員会で話しあい、再度地区へ示す。地

区で話しあうためのたたき台となる。

委員 方針案は必要である。対外的には、長尾より白浜の方が名が通っている。白浜がよいのではないか。

委員長 他に無ければ、名称は白浜幼稚園・小学校で地区へ提案していく。よろしいか。

委員 異議なし。

委員長 第2号議案、第3号議案は関連するので、併せて説明を求める。事務局。

事務局 平成23年4月の統合を目安にしたスケジュールであり、これまで協議された合意事項や、個別合意事項について、平成21年10月を目途に地区合意を形成したい。そのため、新年度より地区への報告・説明を推進したい。それらにより、11月には検討委員会から良好の統合に関する報告をいただきたい。

検討委員会に関わる部分。行政に関する事柄。一番下の欄は、閉校実行委員会が組織された場合のスケジュールである。

委員長 スケジュールと個別事項について、委員の方々より忌憚のない意見を求める。

委員 意見なし。

委員長 意見がないようなので、方針案として会議を進めていきたい。

委員 異議なし。

委員長 個別合意事項について、質問・意見等あるか。

事務局 個別合意事項の(1)～(9)について、検討のポイントを補足説明。

(1) 通園・通学支援については、スクールバス運行等の各種支援方法を検討する。

(2) 園歌・校歌は、現在のものか、新しくするのか。

(3) 園章・校章も、同様。

(4)・(5)・(6)は、学校の意見を中心に、検討する。

(7) 両PTAで検討していく。

(8) 学校の協力により事前交流を推進。

(9) 必要に応じた実施。

委員長 意見を求める。

委員 ひとつずつ準を追って協議していくのか。

事務局 個別合意事項の検討については、1回の会議では検討しきれないものです。今回は課題の頭だしとしてご理解いただきたい。今後、検討委員会として協議検討して行くものです。

委員 個別の案件は、PTA保護者と学校の先生方を主体的に検討してもらう

事項がではないのか。

委員 白浜小は乙浜・塩浦がバス通学。長尾小の支援は、同程度の距離になるのか。

事務局 細部については今後検討していく。専門部会で具体案を作り検討委員会で協議・検討する。(2)、(3)も必要に応じて同様の対応を考える。

委員 スケジュール表に説明会があるが、誰がどういった説明をするのか。

事務局 P T Aや区長会は、年度切り替えで役員改選の時期。まず、組織内で今までの決定事項を引き継いでいただきたい。報告の仕方については定まっていない。

委員 検討委員でない区長が9名いる。その区長にどう伝達するのか。

事務局 検討委員会の内容は報告する必要があるが、全体への報告は、ある程度の内容が決まらなければ、地域内に不安感が出るのが懸念されるため、説明会という形は難しい。

教育長 新年度になって、検討委員会内部で共通理解を図り、足並みをそろえる。それから地区への周知を図る。

委員 5月から6月ごろ説明が行われると考えてよいか。行政区としては、総会があるので3月ごろが良い。

教育長 3月は間に合わないかもしれない。役員改選に伴う委員引継ぎが確実にできるように計らいをいただきたい。

事務局 地区の集まりで、区長からこれまでの内容を説明していただきたい。

委員 個別合意事項の検討にあたっては、専門部会設置もあるとのことだが、P T Aは、検討委員以外の役員にも協議内容をおろしてよいか。

事務局 新年度において、内部で役割分担を検討していきたいと考える。

委員 細部が決まらなければ、P T Aでの話が進まないのでは。

事務局 両校P T Aで、個別事項についてすり合わせをしながら両方で協議していただきたい。

委員 協議検討をするにも、まずP T Aに一定の情報がないと話ができない。

事務局 検討委員会で話し合った検討内容を、伝えていただきたい。

委員 個別合意事項についても説明しなければならない。

事務局 新役員になって、専門部を組織するしかないのではないのか。平成21年度の委員会引継ぎの中で、具体的な組織も協議しなければならない。

委員 4月から5月になるということか。

委員 委員の中にも確実なものが出るまで不安がある。通園・通学支援や、学用品など保護者が深くかかわってくる。時間をかけて十分な対応をお願いしたい。

教育長 検討委員会の協議のまとまった段階で、いろいろな意見を伺いたい。そこから専門部会をつくり検討していく。

委員 統合時期、学校の位置、名称は、区長会に報告しても良いか。

教育長 報告としてお願いしたい。そこで出た意見は、預かりという形で検討委員会へつなげていただきたい。

委員 2月27日に白浜地区行政連絡員会議があるので報告したい。

教育長 間に合うと思われる。

委員 教育委員会からの報告となるのか。

事務局 区長会へ出席している代表委員の方からご報告願いたい。

教育長 それぞれの組織の中で報告願いたい。

委員 今後、地区への説明があるということ話し、区長会では総体的な報告でよいだろう。

委員 保護者から情報提供の要望がきている。合意事項、今後の検討事項、委員会の性格等を知らせていきたい。学校だよりを活用してよろしいか。

事務局 報告事項について、内容に差がないようにするため、検討委員会として報告書を作成する。それにより報告願いたい。

委員長 今後、報告書をもってそれぞれで報告願いたい。理解を図り、平成23年4月の統合を目指したい。

第4号議案「第4回検討委員会の日程について」を議題とする。事務局。

事務局 新年度の委嘱もあるので、5月中旬以降に設定したい。各団体と調整し日時を決定して連絡したい。

委員長 事務局より提案があったが、ご了承願いたい。

オブザーバーの方々より意見をいただきたい。

オブザーバー 新年度からスムーズに進めるために、専門部会等を作り検討していくことが大切。

オブザーバー オープンにすべきものは公表し、早く具体的協議に取り組むべき。

オブザーバー 当事者のPTAに方針案を示し、共通理解を進めてほしい。

4. その他

委員長 その他として、委員の方々から特にあるか。

委員 特になし。

5. 閉会

事務局 以上で第3回白浜地区学校再編検討委員会を閉会する。